



▲町消防団が一丸となり、規律の取れた通常点検を行う様子

町消防団が郡大会に出場 令和7年度上益城郡消防大会

7月26日、益城町総合体育館で令和7年度上益城郡消防大会が開催されました。大会では、多年にわたり消防活動に尽力された前団長・田上慎太郎さん（横田区）に感謝状が贈呈されました。その後、各町ごとに通常点検を実施。「自分たちのまちは自分たちで守る」という志のもと規律の取れた点検を行いました。訓練を通じて、町の防災体制強化に繋げていきます。



▲水産庁長官賞(最優秀作品)の賞状を受け取った甲斐さん(写真中央)

甲斐美鈴さんが最優秀作品を受賞 第24回全国川づくり標語コンクール

8月1日（金）東京都で、第24回全国川づくり標語コンクールの表彰式が開催され、甲斐美鈴さん（甲佐小3年・岩下2区）の作品が最優秀作品に輝きました。同コンクールは川に関心を高め、環境保全を促進する目的で実施。受賞した標語「川の音 聞くとなぜだか思い出す じいじのえがお やさしい声」は、全国内水面漁業協同組合連合会の啓発活動のために活用されます。

台湾の高校生と国際交流 土城高級学校の生徒たちが本町を訪問

8月5日（火）～8日（金）、台湾台南市の高校生11人が国際交流のため本町を訪れました。

この交流事業は、自然や文化、生活習慣の違う環境の中での交流を通して国際化社会に対応できる人材を育成することを目的として、甲佐町国際交流協会が平成27年度から台南市の土城高級中学校との相互交流を実施しており、今年度は台湾側から来町。本町の中高生6人と宿泊交流を行いました。

生徒たちは、やな場や甲佐神社など本町の名所を巡り、町の歴史や自然に親しみながら交流を楽しみました。また、熊本城や阿蘇火山博物館など県内の観光地も訪れ、熊本の風土や文化への理解を深めました。

参加した本町の生徒からは、「英語、中国語など語学を学んで、会話をスムーズに出来るようになりたい」「来年台湾に行くことが楽しみになりました」と前向きな感想が寄せられ、4日間の国際交流で生徒同士の交流もいっそう深まりました。



▲甲佐神社で国際交流横断幕を掲げて行われた歓迎の記念撮影



▲参拝の作法を学ぶ台湾の生徒たち



▲そば打ち体験を楽しむ生徒たち



▲九州大会に出場した甲佐中学校野球部13名の選手たち

甲佐中野球部が九州大会に出場 第50回九州中学校軟式野球競技大会

8月3日(日)、長崎県営野球場ほかで開催された「第50回九州中学校軟式野球競技大会」に、甲佐中学校野球部が県代表として出場しました。1回戦で折尾愛真中(福岡)と対戦した甲佐中野球部は、延長戦のすえ惜しくも敗退となりましたが、選手たちは「チーム全員で戦い、満足のいく試合ができたことは、とても良い経験と思い出になりました」と話しました。

宝くじ助成事業で地域活性化 大町区・横田区がコミュニティ助成事業を活用

大町区および横田区において、「コミュニティ助成事業」を活用し、各区公民館に必要な備品の整備が行われました。同助成事業は、住民による自主的かつ主体的なコミュニティ活動の促進を図ることが目的です。

大町区では、子ども会や老人会への参加者増加に対応するため、折りたたみ式のテーブルや椅子、ブルーレイレコーダーなどを新たに整備しました。

横田区では、地域美化への取り組みを強化する中で、住民の高齢化に伴い、剪定や収集作業への負担が増していたことから、生垣用バリカンやハンディブローワといった作業道具などを新たに整備しました。

加えて両地区に共通する課題として、集落内の一部の道路に照明が無く、安全面で支障があったことから、防犯灯の増設も行いました。

なお、本事業は、(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に実施しているものです。



▲甲斐町長に見舞金を手渡す熊本県町村会の竹崎一成会長(写真左)

町村会から見舞金を贈呈 あたたかいご支援ありがとうございます

8月25日(月)、町本庁舎で、熊本県町村会から本町へ災害見舞金が贈呈されました。同会の竹崎一成会長が甲斐高土町長へ目録を手渡し、「町の復興のために役立ててください」と激励しました。このほかにも、たくさんの方々から支援をいただいております。8月29日(金)時点で義援金の合計額は123万円にのびました。皆さまのあたたかいご支援ありがとうございます。



▲整備されたテーブルと椅子を並べ、集会を行う大町区の皆さん



▲整備された作業道具を手に取り、美化活動に励む横田区の皆さん